

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	6	事業名	茂原市公共下水道事業		路線又は箇所名等		川中島処理区		
事業所管課		下水道課			事業主体		茂原市		
事業化年度	昭和41年度	用地着手年度	昭和40年度		工事着手年度	昭和41年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成54年度			
費用便益比 B/C	1.6	総費用	1,061 億円	総便益	1,727 億円	基準年	平成20年	供用開始 年度	昭和47年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	2,187ha	952ha	899ha
処理人口	64,330人	35,730人	34,200人
川中島終末処理場の処理能力	37,410m ³ /日	26,410m ³ /日	15,410m ³ /日
事業費	654億円	301億円	279億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画952haに対して、899haを整備し、整備率は94%である。
処理場用地の取得状況	全用地を取得済である。
処理施設の供用状況	事業計画処理能力26,410m ³ /日に対して、15,410m ³ /日を整備し、整備率は58%である。
供用開始区域の接続状況	接続率92%である。
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	圏央道の整備に伴い、宅地開発計画があるものの、既に下水道計画に見込んでいるため、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	河川の水質汚濁に係わる水質環境基準に変更はない。
計画変更の有無及びその内容	全体計画及び事業計画について、必要に応じて適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	当市の市街化の状況から、代替としての浄化槽より下水道整備が適していると判断できる。

【対応方針(案)】

茂原市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

【別紙様式4】

事業概要図		川中島処理区						
番号	6	路線又は箇所名等						
事業名	茂原市公共下水道事業							
<div data-bbox="411 1352 528 1921" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">茂原市公共下水道事業</p> </div> <div data-bbox="627 1323 810 1783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; width: 20px;"> <div style="border: 2px solid red; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></div> </td> <td style="padding: 2px;">再々評価対象区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <div style="background-color: black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></div> </td> <td style="padding: 2px;">整備済み区域</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="322 398 1362 1173" style="text-align: center;"> </div>			凡 例		<div style="border: 2px solid red; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></div>	再々評価対象区域	<div style="background-color: black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></div>	整備済み区域
凡 例								
<div style="border: 2px solid red; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></div>	再々評価対象区域							
<div style="background-color: black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></div>	整備済み区域							

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	6	事業名	茂原市公共下水道事業	路線又は箇所名等	川中島処理区	
事業化年度	昭和41年度	用地着手年度	昭和40年度	工事着手年度	昭和41年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年	供用開始 年 度	昭和59年	対応方針	継 続	
B/C	—	総費用	—	総便益	—	
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	638 億円		216 億円			
用地取得面積	4.5ha		4.5ha			
供用面積(延長)	2,187ha		658ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年	供用開始 年 度	昭和59年	対応方針	継 続	
B/C	1.6	総費用	1,061 億円	総便益	1,727 億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	654 億円		279 億円			
用地取得面積	4.5ha		4.5ha			
供用面積(延長)	2,187ha		899ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	6	事業名	茂原市公共下水道事業		路線又は箇所名等		三貫野排水区 他		
事業所管課		下水道課			事業主体		茂原市		
事業化年度	昭和41年度	用地着手年度	—		工事着手年度	昭和41年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成38年度			
費用便益比 B/C	1.4~2.1	総費用	260 億円	総便益	496 億円	基準年	平成20年	供用開始 年 度	昭和47年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(目標年次:H22)	現況(H20)
排水区域面積	442ha	442ha	300ha
処理人口	—	—	—
終末処理場の処理能力	—	—	—
事業費	116億円	116億円	30億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画442haに対して、300haを整備し、整備率は68%である。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	—
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	既成市街地で、今後大きな開発計画がないことから、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	—
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じて適切に見直している。

【コスト縮減】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	—

【対応方針(案)】

茂原市公共下水道事業(雨水)は、今後も整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。

【別紙様式4】

事業概要図

番号	6	事業名	茂原市公共下水道事業	路線又は箇所名等	三貫野排水区 他
----	---	-----	------------	----------	----------

茂原市公共
下水道事業

凡 例	
	再々評価対象区域
	整備済み区域

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	6	事業名	茂原市公共下水道事業	路線又は箇所名等	三貫野排水区 他	
事業化年度	昭和41年	用地着手年度	—	工事着手年度	昭和41年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年	供用開始 年度	—	対応方針	継 続	
B/C	—	総費用	—	総便益	—	
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	113 億円		28 億円			
用地取得面積	—		—			
供用面積(延長)	442ha		287ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和47年度	対応方針	継 続	
B/C	1.4~2.1	総費用	260 億円	総便益	496 億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	116 億円		30 億円			
用地取得面積	—		—			
供用面積(延長)	442ha		300ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、汚水先行で整備をしてきた。今後は汚水整備と並行して雨水整備を図りたい。					